L. ドリーブ（1836-1891）

カディスの娘たち

あたしたち、闘牛を見に行ったの
３人の男の子と３人の女の子で
芝生の上はいいお天気
だからあたしたち　ボレロを踊ったの
カスタネットの音に乗せて
「ねえ言って　隣のあんた
あたしがいけてるかどうか
それとあたしのこのバスクの服
似合ってるかどうか　今朝は
あんたも思うでしょ　あたしの腰がスリム
だって？
ああ！　ああ！
カディス（スペイン南西部の港湾都市名）の
娘はこういうのが大好きよ！」

あたしたち　ボレロを踊ってたわ
ある夕方　日曜日だったわ
あたしたちのところにやってきたの　一人の
紳士が
金ぴかに飾り立てて　羽を帽子につけて
そいつはこぶしを腰にあててさ
「もし君がぼくのものになりたいのなら
可愛い笑顔のお嬢さん
君はただそう言いさえすればいい
この金は君のものだよ」だって
近寄らないで　ご立派な旦那さま
ああ！　ああ！
カディスの娘はそんなこと聞かないわ

G. プッチーニ（1858-1924）

歌劇「ジャンニ・スキッキ」より ‘私のお父さん’

ねえ　私の大切なお父さま
わたし　あの方が好き　とてもステキな人
なのよ

だからポルタ・ロッサ（フィレンツェの中心街
の通りの名）へ指輪を買いに行きたいの！
ええ　そう　あそこへ行きたいの

そしてもしもこの愛が儚いものなら
ヴェッキオ橋（フィレンツェの街中を流れるアル
ノ河にかかる橋で街のもっとも繁華な場所）
に行って代わりにアルノ河へ身を捨てますわ！

わたし　切なくて　苦しくて
ああ　神さま　いっそ死にたいくらいです！
お父さま　お願いです　お願いですから！

E. ディ・カプア（1865-1917）

オー・ソレ・ミオ（私の太陽）

太陽の輝く日はなんて素晴らしいのだろうか
嵐のあとの澄んだ空気
新鮮な空気はまるで宴（注：festa）のよう

でももうひとつの太陽はもっと美しい！
私の太陽、それはあなただ！

夜になって太陽が沈むと
私はメランコリックな気分（注：物思いに沈む
気分）になり　あなたの窓の下にたたずむ

でももうひとつの太陽はもっと美しい！
私の太陽、それはあなただ！

ご来場の皆様へのお願い

＊ 本日の公演では、各種メディアの方々が来場され、各種取材活動が行われる予定がございます。
＊ 会場の様子が、テレビ、新聞、雑誌、Web 等に放送・掲載されることがありますので、ご了承ください。
＊ 公演中は、スマートフォン・携帯電話・時計のアラーム音の電源はお切りください。
　また、キーホルダーの鈴など音を発する小物にもご留意ください。
＊ 公演中の写真・ビデオ撮影・録音・録画はご遠慮ください。

Argerich's Meeting Point
公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団
Tel:0977-27-2299　https://www.argerich-mf.jp

文化庁　2019 年度　文化庁　文化芸術創造拠点形成事業

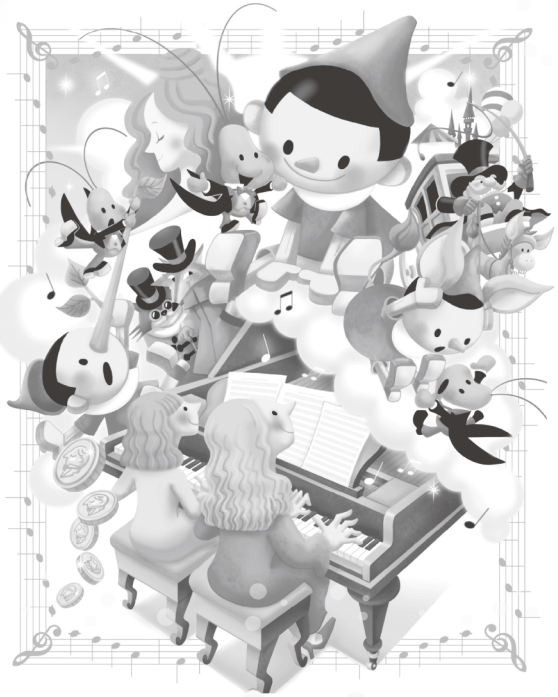
★★★★★★★★★ Pinocchio Concert ★★★★★★★★★

ピノキオコンサート®

大人とこどものための 音（おん）・学（がく）・会（かい）

at Shiiki presents Argerich's Haus

出演　出口正子（ソプラノ）　伊藤京子（ピアノ・おはなし）



2019年 10月31日（木）　開演14:00 終演15:00

主催：別府アルゲリッチ音楽祭実行委員会

公益財団法人
アルゲリッチ芸術振興財団 総裁
別府アルゲリッチ音楽祭 総監督

マルタ・アルゲリッチ

©Rikimaru Hotta

メッセージ　〜 星に願いを 〜

1994年に初めて大分を訪れて以来、様々な新しいアイディアを私の音楽祭を通して実現してきました。

中でもこどものためのコンサートや病院訪問コンサートは、音楽の社会での役割を考えるとき、大変重要なものだと思います。

音楽もまた他の芸術や文化と同様に、健全な体とともに知性や心がバランスよく成長するための役割があります。

音楽を通して想像する力や集中する習慣が身につき、それは人とのコミュニケーションをスムーズにし、また何かを学ぶ時にも役立つものです。

何よりこどもたちにはピノキオのお話にあるように、周りの人々によって導かれ、人としての良心を次第に心に刻んで欲しいと思います。

私は音楽が必ずやこどもたちの育みの一助になると信じ、ピノキオコンサートを開催することにいたしました。

こどもたちが穏やかで、平和な未来に生きられるよう、共に星に願いをかけましょう。

ピノキオコンサート出演　Argerich's Friends プロフィール

出口正子（でぐちまさこ）
（ソプラノ）

Masako Deguchi

国立音楽大学卒業。東京藝術大学大学院終了。第10回日伊コンコルソ第1位。
第43回日本音楽コンクール第1位。海外派遣コンクール特別表彰受賞。イタリア(ミラノ)スカラ座研修所で研鑽を積み、約30年間在伊。多くの国際的オペラ歌手との共演、国際舞台での活躍の実績を持つ。第15回ジロー・オペラ賞大賞受賞。昭和63年度芸術選奨文部大臣新人賞受賞。田島好一、A.ベルトラミ、E.ミュラー、N.スカットリーニの諸氏に師事。正統的なベルカント唱法を会得している数少ない日本人ソプラノ歌手である。ベルカント・オペラのアリアと歌曲によるCDアルバムをリリースしている。

©Rikimaru Hotta

伊藤京子（いとうきょうこ）
（ピアノ・おはなし）

Kyoko Ito

北九州市出身。東京藝術大学、フランクフルト音楽大学卒業。第43回日本音楽コンクール第3位、1977年ブゾーニ国際コンクール第3位入賞。欧米での演奏活動と共に、日本国内においての活動も高い評価を受けた。クラシック音楽を通じた子どもたちの育成をめざして2000年9月「おたまじゃくし基金」を設立、現在の「ピノキオコンサート」へとつながった。「心の教育」を目指す「ピノキオコンサート」は活動の中心となっている。新聞・雑誌でのエッセー執筆、講演など多数。ピノキオコンサートによる教育活動や芸術振興事業の顕著な功績に対して2016年「第3回JASRAC音楽文化賞」、2018年「第77回西日本文化賞」等受賞歴多数。別府アルゲリッチ音楽祭総合プロデューサー。(公財)アルゲリッチ芸術振興財団副理事長。

プログラム（予定）

（演奏順不同）

F. ショパン
12の練習曲 op.10より ハ短調「革命」

L. ドリーブ
カディスの娘たち

G. プッチーニ
歌劇「ジャンニ・スキッキ」より'私のお父さん'

山田耕筰
この道（北原白秋 作詞）

E. ディ・カプア
オー・ソレ・ミオ（私の太陽）

Pinocchio Concert

ピノキオ コンサート

音楽を通して次世代を担うこどもたちの豊かな心を育む

©Rikimaru Hotta

当財団のコンセプトのひとつ「育む」をもとに、社会の共有財産のひとつであるクラシック音楽を通して、私たち大人がこどもたちの育つ精神環境を考えていくものです。音楽を通して想像力や感性を養い、心豊かで穏やかな社会を創るために何ができるのかを共に学ぶ「演奏とおはなし」のコンサートです。童話「ピノキオ」で、主人公のピノキオがジミニー・クリケットや人々に導かれ「良心」を育み、「ものごとの善悪」を学び、豊かな心をもった『人』へと成長していく様子にちなみ、2007年財団法人化を機に「ピノキオコンサート」と名付け、現在までに約42,000名の方々がコンサートを体験しています。

通常のクラシックコンサートとは一線を画し、アルゲリッチ総裁をはじめピノキオコンサートの趣旨に賛同する日本を代表する一流の音楽家（Argerich's Friends）が、こどもたちの「心を育む」ことを目的に、音楽のみならず自身の経験などを参加者に直接語りかけ、学校やコンサートホールをはじめ神社、博物館等で開催している教育プログラムです。